



高瀬会だより

第6号

◆◆◆理事長挨拶◆◆◆

明けましておめでとうございます。

平素は、社会福祉法人高瀬会の運営にご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を表す文字が「災」でありましたように、いつになく自然災害に見舞われた年であり、お客様に安心していただける生活を確保するという使命から、生命レベルでの危機管理体制がいかに重要であるかを、改めて考えさせられた年であります。

さて社会福祉法人が持つ理念として、地域の中で住民を支えていくという根本的な考え方があります。昨年は診療所、グループホームの設立により、地域で医療と福祉の総合的なサービスを提供できるようになり、その理念に合う事業展開ができるようになりました。今後は、来年度の介護保険制度改革に向けて、新たな制度の展開とケアの在り方が求められるようになると思われます。

また、「自立と自己責任」「サービスの質の向上」とともに、今後は、福祉サービスの質を維持し、継続的に改善していくためのマネジメントシステムの確立が期待されます。

当法人では、地域密着型の体制は勿論のこと、ユニット・小規模多機能型ケアのできる体制や介護保険制度改革の大きな課題となっております介護予防への取り組みについて、今後大いに事業展開を図りたいと考えております。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



『新しい年を迎えるにあたって』

私が高瀬会に入職して早や20年6ヶ月となりました。当時、「古座川園」からスタートしたわけですが、スタッフは全員、老人福祉に対して初体験の方ばかり、ただ夢中で目標に掲げた「家族的な雰囲気作り」を目指してきたように思います。高瀬会も大きな組織となり、平成12年4月には介護保険制度が始まり、お客様に対しては顧客意識を高める方向になりました。そのような中で私の体験から言えるのは、やはり、お客様に対しては、思いやり、優しさという心のこもった対応が一番大事ではないかということです。スタッフ一同、この気持ちを持ってお客様に接することにより、自然と『選ばれる施設』が生まれるのではないのでしょうか。

垣下 和巳

新年明けましておめでとうございます。

振り返れば、高瀬会職員になり二度目の正月を迎えます。昨年は何といっても我がリハビリ部門紀南初となるパワーリハビリテーションを導入し、全国レベルを視野に入れた新しい取り組みをしてきました。まだ全体的に不十分ではありますが、まずまずの成果があり手ごたえを感じています。今後、更なるシステム確立と結果を残していけるよう頑張っていきたいと思います。

鳥淵 幹雄

明けましておめでとうございます。

今年で3回目の酉年を元気に迎えることができました。昨年4月よりケアマネジャーの仕事をして頂き、自宅で生活されるそれぞれのお客様が「よりその人らしく」充実した日々を送ることができるよう、これからも真剣に取り組んで参りたいと思います。また、『高瀬会だより』をいつもご愛顧頂きスタッフ一同、心より御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

網 真作



あじさい苑に勤めさせて頂き4年が経ちました。介護サービス業の難しさを感じながら毎日を過ごしています。言葉使い、接し方、全てにおいて反省するばかりです。表面的な優しさでなく心から優しさを出せるよう自分自身を磨き、少しでも前進できればと考えています。今年も皆様に支えて頂きながら頑張ります。ご指導の程、よろしくお願い致します。

畑 康子



明けまして おめでとうございます。

気がつけば、「あら？もう一周（12年）まわってきたの？」という感じです。高瀬会に、お世話になって4年を迎えようとしていますが、多くの皆様に助けていただき元気を与えてもらい、今日に至っています。それをバネに今年は少しでもパタパタ羽ばたければと願っています。

梅屋喜美子



介護職に就いて4年半が経ち、毎日がアッという間に過ぎていきました。まだまだ知らない事が多く、学ばなければならない事もいっぱいあります。これからも、自分自身を磨くためにも色々な事を吸収していきたいと思います。

池田 敬子



新年明けましておめでとうございます。

昨年12月にグリーンヴィレッジ古座川からあじさい苑に異動したばかりで、今は仕事を覚えることに必死の思いです。一刻も早く仕事に慣れ、常に初心を忘れず、色々な事にチャレンジし、学んでいきたいと思っています。皆様方、今年もよろしくお願いします。

下川 恵



明けまして おめでとうございます。

昨年4月から高瀬会でお世話になり、色々体験させて頂いているのですが、まだまだ未熟で、皆様のご期待に沿えることができたようには思えません。今年は何事にも積極的に取り組み、知識・技術の向上に精進したいと思います。今後とも、ご指導よろしくお願いします。

西 大志



高瀬会に入社させて頂いた時から「明るく、楽しく、スムーズ」にと心に思い、毎日がそのようであれば、安全で、心豊かに、仕事が出来るとは思っていました。今年の抱負は、「不死鳥」のごとくといきたいところですが、これからも「明るく、楽しく、スムーズ」をモットーに、合言葉は「ピース」！！です。

岡田 妙子



昨年は、私自身やその周りの環境が変わり、落ち着く間がなかなか無かったのですが、今年は落ち着きを取り戻し、昨年できなかったことや、やり残したことを一つ一つできるだけやり遂げ、更にこれから挑戦してみたいことがあれば、何でもまずやってみようという気持ちが持てる自分でありたいと思います。そして、いつでも元気で明るく楽しく笑っていきたいと思います。今年もまたよろしくお願いします。

越河 陽子



古座川町展

12月4～6日 高池公民館において町展が行われました。町内の保育所や小中学校を始め、サークルや趣味として活動されている町民の方々の作品が毎年、数多く出品されています。デイサービスやデイケアのお客様の作品も展示していただきました。



グループホーム『もみの樹』～地域の中へ

開所して9ヶ月目を迎えるようとしています。9名のお客様とスタッフは『もみの樹』ならではの・・・の生活をどう繰り広げていこうか？家庭的な雰囲気の中、一緒に生活を楽しみながら、試行錯誤を繰り返しているところです。

地域との密着を目指す活動の第一歩として、高池保育所に定期的に慰問を行い、交流を図っています。12月21日（火）には4回目の慰問に行きました。お客様は、回数を重ねるごとに交流を心待ちにするようになり、一緒に活動する楽しみが増えました。幼児たちとのふれあいには、心が和み、自然と笑顔になります。また、三尾川小学校の子供たちから三尾川小祭りへの招待のメッセージが入ったカセットテープをいただき、12月16日（木）に行きました。協力し合って祭りを盛り上げる全校18名の子供たちの仲の良さが伝わってきました。帰り際には、子供たちと一緒に記念撮影をしました。それぞれ描いてもらった似顔絵は大事に部屋に飾っています・・・。ご招待をありがとうございました。



古座川園の取り組み～何がしたい？希望をケアプランに！

古座川園では、介護面でお客様やご家族に安心していただくだけでなく、個別処遇の一環として、お客様に一番したい（希望）ことを聞き、その希望を叶えるためにどう援助するのか？（援助方法の検討）という事に取り組んでいます。

家族とひとときを過ごしたい、お墓参りがしたい、お孫さんと会いたい等いろいろな希望を聞くことができました。あるお客様の『お墓参りがしたい』という希望を叶えるために・・・まず、ご家族と相談し、お寺へ連れて行くことを承諾してもらいました。お墓参りの後、職員と一緒に自宅近辺を散歩していると、久しぶりに友達と会うことができ、懐かしい話に会話が弾みました。園に戻ると、その日の充実感と満足感に、涙して嬉しかったと喜んでいただくことができました。お客様の多くは、高齢による心身レベルの低下により自宅での生活や介護が困難となり、環境や個人的な条件・理由によって施設での生活を選択されています。生活を楽しむためには目標や希望が必要です。お客様が諦めてしまっていることの中からでも達成できることもあります。今後も、生活意欲の向上に向けて取り組みたいと思います。



「痴呆」から「認知症」へ

「痴呆」にかわる呼称を議論している厚生労働省の検討会で「認知症」が最適であると12月24日の報告書にまとめられました。報告書では、「痴呆」の表現が実態を正確に表しておらず、早期発見・早期診断などの支障になっていると指摘、誤解や偏見の解消に努める必要があることから認知症に変更することになりました。今後は、痴呆性高齢者を認知症高齢者と改められます。



全国社会福祉協議会会長表彰される

平成16年11月12日東京都（日比谷公会堂）において、社会福祉施設功労者の表彰を切土 清之理事長が授与されました。多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々に一層のご活躍を期待するとともに、こうした時代の要請を的確に捉え、わが国社会福祉の更なる充実をめざすことに大きな期待が寄せられています。

職員研修旅行～施設見学

職員の慰安と視察研修を兼ねて、研修旅行が行われました。今年は、社会福祉法人 三相園福祉会（兵庫県春日町）と社会福祉法人 聖徳会（大阪府松原市）の2施設の見学と聴講を行いました。

三相園福祉会「おかの花」施設長の講演では、施設概要の後、平成18年度の介護保険制度改定に向け、兵庫県老人福祉事業協会の動きについて説明がありました。要介護1が現行の介護給付対象から除外されること（新予防給付対象になる）については反対の意見を、要介護2以上の特養施設の利用制限については改正時の暫定措置の検討を、そして市町村によるサービス格差が生じない施策の推進を、国や県、全国老人福祉施設協議会に提言されています。また、公的・私的介護（混合介護）負担や介護の質の問題として職員の資質向上・資格制度の整備等の課題点も挙げられていました。

聖徳会「大阪老人ホーム」施設長の講演では、歴史ある法人運営で確立された様々な介護サービス事業と、今後求められる小規模多機能型施設の活動を目指しての取り組みや地域との密着、施設でのユニット（フロア別）での活動プログラム等の説明がありました。社会が求めているケアに敏感に反応していること、設備の活用や生活空間の創造等について勉強になりました。法人研修制度の確立により、向上心の発掘と評価を行う等、職員の資質向上がケアの資質向上を図る重要な条件の一つであることをしくみとして実践されており、法人体制の安定を感じました。

地域性に応じた特色ある施設の運営や活動が魅力的であり、介護に携わる場面によってそれぞれの感性や視点を持ちながら、私たち職員は研修させていただくことができました。2施設の職員の方々には、お忙しい業務の中、大変お世話になり感謝致しております。



『新予防給付』って・・・

平成18年の介護保険制度改革では「介護予防システム」について、要支援・要介護1（軽度者）対象者に新設される「新予防給付」と要介護状態になる前の高齢者には、市町村が行う「地域支援事業」（仮称）の2本立てで予防システムを構築すると提案されています。要介護2～5（中重度者）の対象者については、現行の介護給付の対象となります。要支援・要介護1の対象者については、「新予防給付」と現行の「介護給付」が対象となり、その振分けは、介護認定審査会が行い、市町村が決定します。「新予防給付」とは筋力トレーニング、口腔ケア、栄養指導、転倒予防訓練、痴呆予防プログラム等を内容とし、予防効果が認められる通所介護の一部は取り入れられる方向ですが、詳細は今後、検討される予定です。介護予防施策を充実させることで、給付費増加と要介護認定者数を抑制することが目的といわれていますが、改革に向けて今後の動向に関心が広がりそうです。



新春準備 ～門松作り&餅つき～

恒例の門松作りが始まると、年の瀬を感じます。堂々と玄関先を飾る門松は手作りが自慢です。竹や松の切り出し、ドラム缶を使って下地作り、葉ボタンは種から職員が育て上げました。餅つきは毎年、ボランティアの方々にご協力を頂きながら鏡餅などを作ります。餅つきや大掃除と1年の締めくくりと始まりには、せわしなさの中にも気が締まる思いを感じます。きっと良い年を迎えられたことでしょう！





＜豆知識＞

門松とは？・・・古くから新しい年を迎えるにあたり、玄関先を清めるものです。年神様をお招きするための目印であり、神様がお降りになったときに宿られる場所（依代）を表します。常葉樹（松）を用いることから門松と呼ばれるようになりました。竹3本を松で囲む形が一般的です。鏡餅とは？・・・餅は古くから神様の食べ物として用いられてきました。五穀豊穡を神に感謝する行為は、日本人の民族性であり伝統を表しています。昔、鏡は銅で作られ、丸い形をしていました。丸い形は心臓をかたどったもの、魂を映す神器といわれます。2段は円満に年を重ねる意味があり、大小は太陽と月を表し、福德重なる意味もあります。年神様に感謝する気持ちを込めて門松や鏡餅を飾る行為は日本人固有の文化です。

バイキング&忘年会

散らし寿司にサンドイッチ、天ぷらに煮物、最後にはチョコケーキに抹茶プリンetc・・・人気メニューにデザートが目白押しです。食べたい物を自分で選んで食器に入れたり、入れてもらったり、自然と会話も多くなります。好きな物だけ選んでみたり、珍しい物を味見したり、楽しみ方はお客様それぞれでした。



光泉寺の子授け銀杏

古座川町三尾川にある光泉寺の大銀杏が紅葉し、黄金色の葉を落としています。今年は暖冬のせいか、毎年より遅めの紅葉でした。県内一の大きさと高さ約30m、幹の周囲は約7m、樹齢は400年（町指定文化財）とされています。乳房に似た木根が垂れ下がっていることから子授けの言い伝えがあり、祈願に訪れる方も。地域の新聞や情報誌にと・・・人気者です。



光泉寺と銀杏



慰問ライブ

1月4日（火）元X日本のトシさんの慰問がありました。全国各地の福祉施設等を回りながら、ボランティアでミニコンサートを行っているようです。ギターの弾き語りバラード曲を披露していただき、優しい歌声を聴かせてくれました。人気絶頂時期の心境などを語ってくれたり、ライブの後には、一緒に写真撮影や握手をしてくれたりとお客様は大喜びでした。





高瀬会にホームページができました！！

ますます充実させていただきます 是非ご覧下さい

ホームページアドレス

<http://www.takasekai.or.jp>

メールアドレス

info@takasekai.or.jp

ご紹介します！

古座川町平井に在住の前田義治さん（８８歳）、和代さん（８０歳）ご夫婦は、高瀬会だよりが届くのを楽しみに、繰り返し読んで大事にとってくれています

す。たかせ会記念診療所の記事を読んで、奥 秀喬医師が教師をしていた和代さんの教え子とわかり、活躍ぶりに大変喜んでおられました。看護師さんやヘルパーさんの訪問を始めて８ヶ月目になります。

今年の抱負は？の質問に「今年も先生やヘルパーさん、看護婦さん達に助けてもらいながらじいさんと二人で頑張りたい！！」とのことでした。



《寄付金》 平成１６年１月～１２月 （敬称略）

石倉 春男（古座川町） 稲垣 丈士（古座川町） 岩谷 悠史（串本町）
上田 敏夫（古座町） 太田 琴久（那智勝浦町） 大屋 一成（古座川町）
大藪 勝（古座町） 小上 博史（那智勝浦町） 奥 操（古座川町）
奥根 啓靖（古座川町） 金澤 弘典（古座川町） 上村 偉夫（古座町）
河村 隆（古座川町） 北 於佐己（太地町） 北垣 尚見（古座町）
小林医院 小林 詔三（松阪市） 小山 徹（熊野市） 坂本 武（古座町）
潮崎 暁（古座町） 鈴木 速雄（堺市） 鈴木 良平（串本町）
高池婦人会（古座川町） 高瀬区長 柏 俊行（古座川町） 田島 礼子（横浜市）
谷畑 富子（古座町） 玉置 文子（那智勝浦町） 寺町 忠（串本町）
西田 幸一（那智勝浦町） 布目 登喜一（古座川町） 松下 昌子（古座川町）
的場 なるみ（古座川町） 水上 和代（古座川町） 南 禎子（和光市）
南 知子（古座町） 峰 年子（横浜市） 宮本 包義（古座川町）
山下 かず代（古座町） 矢本 和代（古座川町） 横代 公志（貴志川町）
米津 安敏（那智勝浦町）

４０名

合計 ３，６０５，０００円

《寄付物品》

村上 五雄（古座川町） 杖
山口 好次（白浜町） 電動スクーター

《ボランティア》

毎月 日本赤十字社古座川支部奉仕団（洗濯整理）
ボランティアグループひまわり（シャツ交換）

明神小学校 明神中学校 三尾川小学校 田原中学校 東会 藤紀流舞踏
エマ・マリエ・フラ わくわくボランティアスクール 天理教奉仕団 岬節保存会

楽しかった思ひ出



新年祝賀会、理事長から新年の挨拶・・・



祝賀会で初歌披露！！



バイキング「お腹いっぱいになりそう」



「カラオケに初めて挑戦します！！」



クリスマス会かわいいサンタさん



明神小生徒さんによる楽しいゲーム

編集後記

初春のお喜び申し上げます。

新春号の『高瀬会だより6』は、いかがでしたか？

中でも紹介させていただいたのですが、この新聞を楽しみにしてくれている方がいると聞き、私たち新聞委員は大変うれしく思います。

今年も皆様の意見を聞きながら、共に成長していきたいと思います。



Copyright:(c)2004 Takasekai All Right Reserved.